



今回は、堀内の富樫庸輔さんと結婚した、舟形町出身の唯(旧姓:伊藤)さんです。
皆さんよろしく申し上げます。

♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか?
行っている美容室が一緒で、そこのお店の人の紹介で知り合いました。

♥嫁いできて、舟形町での生活はどうですか?
生まれも育ちも舟形なので、大きな変わりはないですが、嫁いだ所が子供たちを外でたくさん遊ばせることができるので、良かったです。

♥舟形町の良いところ・悪いところは?
良い↓公園や支援センター等、子供たちが遊ぶ所があり、育児の相談や、ほかのママたちとの交流の場も設けられてるので、安心して子育てできるところ。
悪い↓ドラッグストアが欲しい。

♥舟形町に望むことはありますか?
子育てに力を入れてるので、今ある公園のほかに大きな公園や、土・日も使用できる室内遊技場等があると、町外の方も集まって、舟形町をもっと知ってもらえると思います。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。舟形町に嫁いでこられたお嫁さん・お婿さんを募集します。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
☎32-0030 (直通)



皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

私の住む舟形第2町内は、36世帯97人が暮らしています。

日頃、大きな事件や事故も無く、平和な町内で暮らすことが出来るのも、町内会長を中心に様々な活動を通じて、地域住民の連携が取れているからだと思います。現在は、活動の中心は父の年代位の方々に構成されており、次の世代はたいへん少ない状況となっております。各町内も同じような状況だと思いますが、現在の町内会活動や消防団活動等が、現状と同じく今後継続していけるかと、たいへん不安に思います。

最近では、大地震や大雨等の未曾有の災害が毎年全国各地で起こっています。数年前の大雨では近所の八幡神社が被災し、現在も補修中となっております。このような災害も身近なものとして捉え、尚一層、地域の連携が重要なものと改めて感じています。
今後、一層高齢化が進み、様々な課題が出てくると思います。議会の皆様にもご協力いただき、より暮らしやすい舟形町になることを期待しています。



沼沢 圭治 さん
(舟形第2)
(議会より)
地域の連携が重要なものと議会でも感じております。

編集後記

新型コロナウイルスの感染が拡大してからわずか5か月で世界情勢や社会情勢が大きく変わり、生活様式が一変し、経済成長も大きく崩れたのではないのでしょうか。県内では2か月ぶりに新たな感染者が発生し死亡者も1人確認されました。

今後、新型コロナウイルスとの共存、新しい生活様式を取り入れる姿勢、第2波など感染拡大に対する備えが必要です。

また、この度の九州地方などの大規模災害は、2年前の県内被害をはるかに上回る災害であり、自然災害の多い日本では、コロナ禍を見据えた避難の心構えが必要であると改めて考えさせられました。
(叶内 昌樹 記)

発行責任者

議長	八 欽 太
議会広報常任委員会	
委員長	伊 藤 欽 一
副委員長	小 国 浩 文
委員	石 山 和 春
委員	荒 澤 広 光
委員	叶 内 昌 樹